

# 令和7年度教職員表彰MVP受賞者インタビュー

## (横須賀中学校 伊藤琴恵先生)

### 1 受賞の感想をお聞かせください。

このたびは、このような賞をいただき、大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。日々の教育活動は、周囲の先生方の支えや、生徒・保護者の皆様との関わりの中で成り立っていると感じています。今回の受賞は、青葉学級の職員をはじめ、研修センターや地域の就労施設の職員の方、セカンドステップ、出前授業などで生徒たちと関わってくださった多くの方々のおかげです。心から感謝しています。



### 2 ご自身の取組について、どんな点が評価されたと思いますか。

特別支援学級の主任として、生徒一人一人の特性や思いに丁寧に向き合うこと、安心して学べる環境をつくることに努めてきました。また、先生方と連携し、学校全体で生徒を支える体制づくりを大切にしてきました。体験を伴う学習や地域との関わりを通して、生徒が達成感や社会とのつながりを感じられるよう工夫したり、保護者の不安に寄り添い、進路に関する情報提供や学習会を行ったりしてきました。また、若手や通級指導の教員に声をかけ、知識や知見を深めるために特別支援教育に関する研修会などに一緒に参加し、そこで得た指導法などを実践しようと試みてきたことなどを評価していただけたのではないかと感じています。



### 3 ご自身の指導方針や子どもたちへの接し方で心がけていることをお聞かせください。

私は人が好きです。自分と関わる全ての人を尊敬し、尊重したいという思いを大切にしています。生徒が「ここにいていい」と感じられる関わりを心がけ、できたことや小さな成長を共に喜びながら、安心して挑戦できる環境づくりを大切にしています。また、社会性やコミュニケーションが育まれるよう、協働的な活動を取り入れています。失敗も学びの一つとして受け止め、次につながる経験になるよう寄り添うことを意識しています。

#### 4 教師をしていて、うれしいと感じるときはどんなときでしょうか。

生徒が自信をもって一步を踏み出す姿を見たときや、「できた」と笑顔で伝えてくれる瞬間に、大きな喜びを感じます。

また、教え子たちが、卒業後に近況を知らせてくれたり、人生の節目に会いに来てくれたりすることがあります。そのたびに、関わった生徒たちの心に何かを残すことができたのかもしれないと感じ、胸が温かくなります。

#### 5 これからの夢をお聞かせください。

これからも、多様な生徒たちが安心して学び、自分らしく成長していける環境づくりに取り組んでいきたいと思えます。関わった生徒たちが、周りの人に愛され、将来それぞれの場所で幸せに生きていってほしいと心から願っています。保護者や地域の方々、そして教職員がつながりながら、生徒の将来を共に支えていけるような教育を目指したいです。

#### 6 最後に、周りの先生方へひとことお願いします。

いつも支えてくださり、本当にありがとうございます。日々の何気ない声かけや情報共有にどれほど助けられてきたかわかりません。横中の職員室は、生徒たちのがんばった様子を伝え合う声がかいつも飛び交う風通しのよい環境にあります。これからも学び合い、支え合いながら、生徒たちにとってよりよい学びの場をつくっていったらうれしいです。